

## 2018年3月期第1四半期 決算説明資料

2017.7.28

TIS株式会社

Copyright © 2017 TIS Inc. All rights reserved.

(2017年7月28日開催 アナリスト向け決算説明電話会議 プレゼンテーション要旨)

・TISの柳井です。よろしくお願いいたします。

**2018年3月期第1四半期 業績概要**

2018年3月期 業績見通し

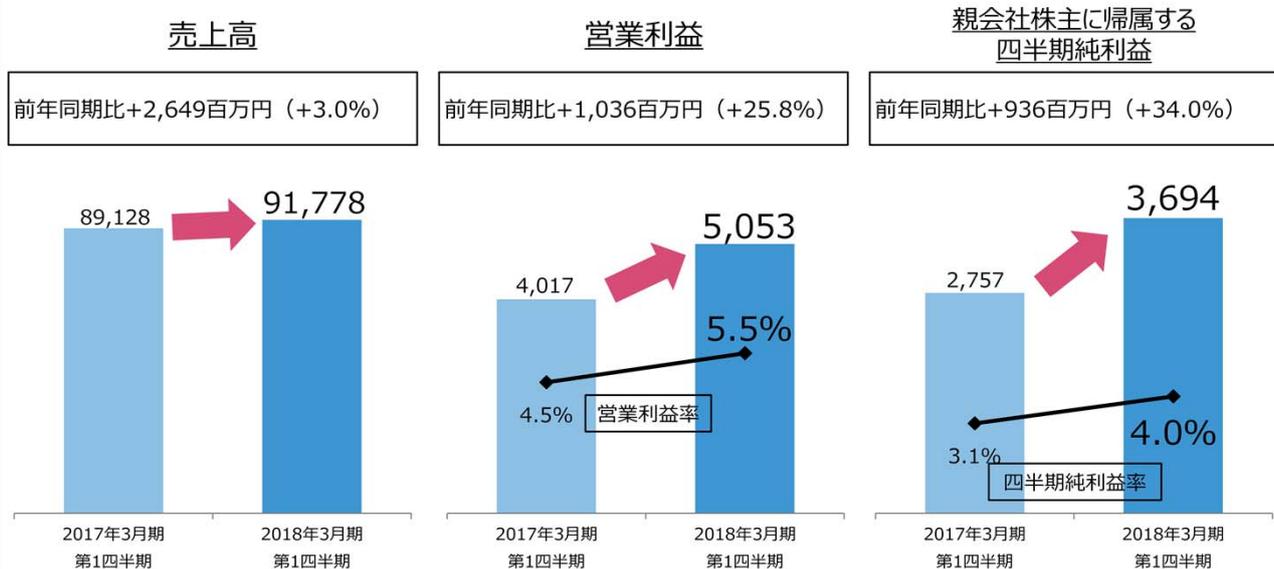
参考資料

- ・それでは、本日3時半に発表いたしました、当社の第1四半期決算の内容につきまして、決算説明資料を使って説明させていただきます。

## 2018年3月期第1四半期 業績ハイライト

(単位：百万円)

・良好な事業環境を背景に、事業拡大や収益向上の取組み等により、前年同期比増収増益。



IT投資動向が強まりを見せる分野において顧客ニーズを的確に捉えたこと等が牽引し、前年同期比増収。

増収効果、不採算案件抑制を含む収益性向上に向けた取組みが、競争力強化に向けたコスト増を吸収し、前年同期比増益。

主に営業利益の増加に伴い、前年同期比増益。

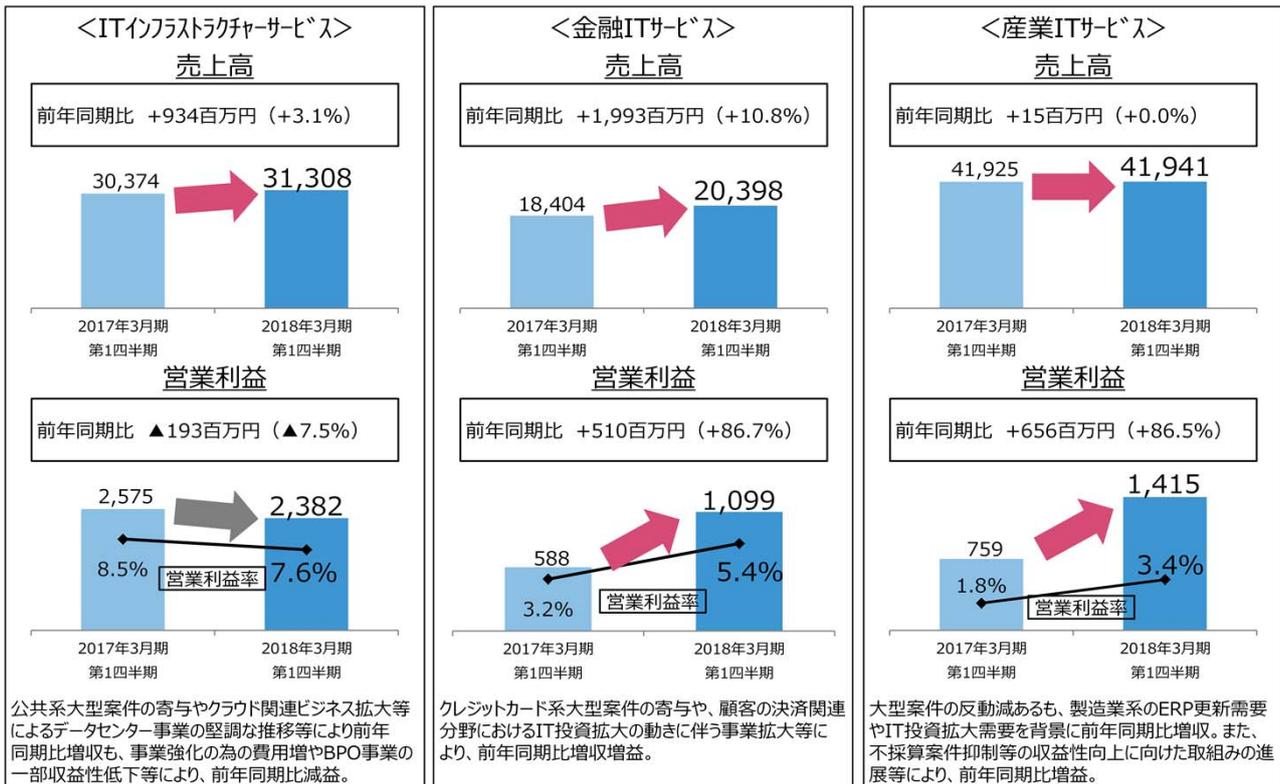
Copyright © 2017 TIS Inc. All rights reserved.

3

- ・当第1四半期の業績は前年同期比増収増益となり、出足好調といえる内容だったと考えています。
- ・好調な事業環境を背景に、売上高は917億円となり、前年同期比で26億円・3.0%の増収となりました。
- ・また、利益面は、営業利益が前年同期比10億円・26%増の50.5億円、親会社株主に帰属する四半期純利益が前年同期比9億円・34%増の36.9億円となりました。

## 2018年3月期第1四半期 主要セグメント別損益状況

(単位：百万円)

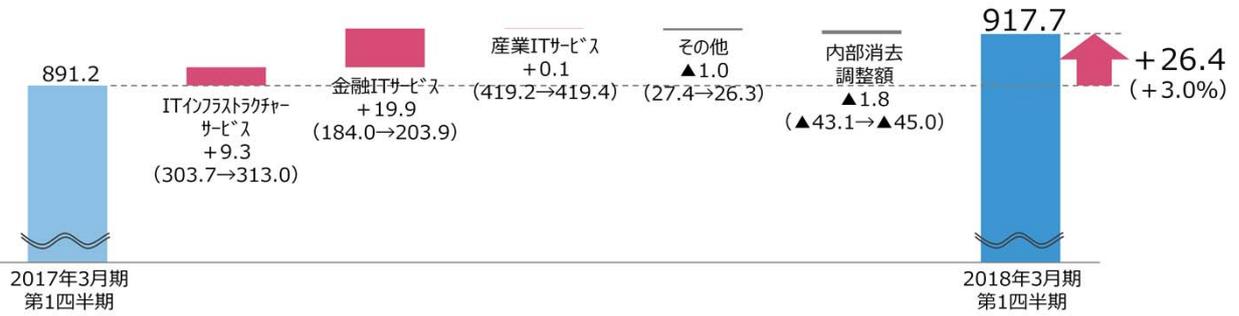


- ・主要なセグメント別の状況についてですが、3セグメントとも概ね堅調といえる内容でした。売上高の中では、特に金融ITサービス順調であり、引き続きクレジットカード・決済系のIT投資が好調であり、19億円・10.8%の増収となりました。
- ・営業利益では、金融ITサービス・産業ITサービスとも好調でしたが、ITインフラストラクチャーサービスのみが前年同期比減益となっています。コメントも記載していますが、事業強化のための費用増やBPO事業の一部収益性低下によるものであり、こうした動きは概ね期初想定に沿った動きであると認識しています。

## 2018年3月期第1四半期 売上高・営業利益増減分析

(単位：億円)

### 売上高



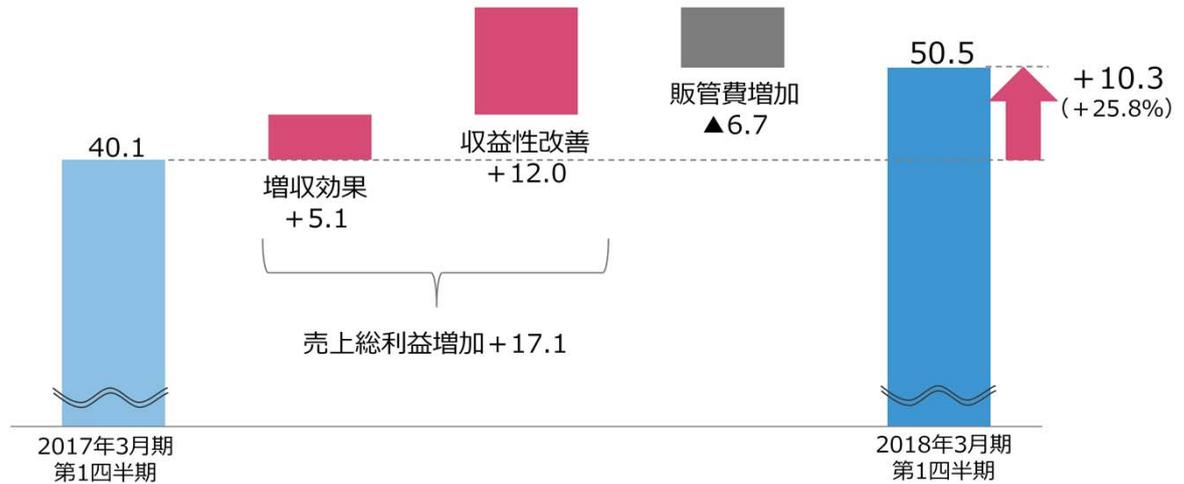
### 営業利益



(説明省略)

## 2018年3月期第1四半期 営業利益要因別増減分析

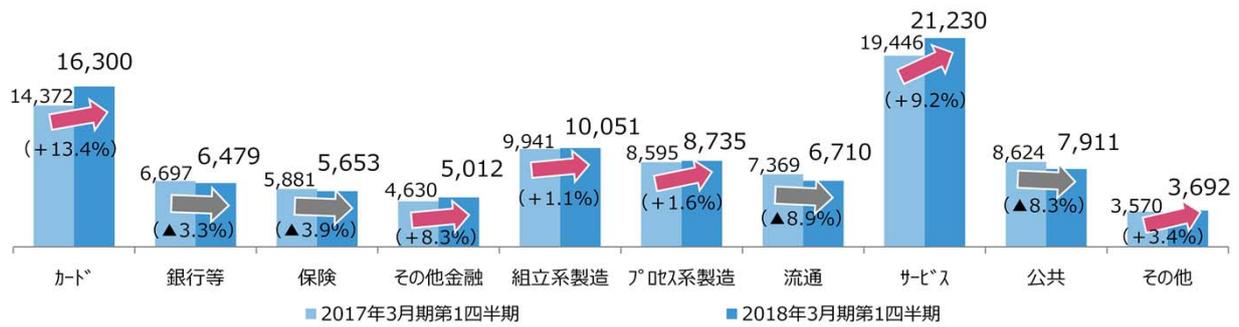
(単位：億円)



- ・本ページは今回から新たに追加したページになりますが、営業利益の要因別増減分析を記載したものです。
- ・前年同期に比べて、増収効果で5億円の利益増、収益性改善で12億円の利益増の結果、売上総利益が17億円増加した一方、販管費が7億円弱増加した結果、営業利益としては10億円増加したという構造になっています。
- ・収益性改善12億円のうち、約9億円が不採算案件の抑制効果によるものです。当第1四半期における不採算案件は1億円第の半ばに抑えることができています。
- ・また、販管費の増加は、AI等の専任組織の設置や体制強化等、競争力強化に向けたコスト増であり、中長期的な観点では前向きなものであると考えています。

## 2018年3月期第1四半期 顧客業種別売上高

(単位：百万円)



<2017年3月期第1四半期>



金融分野：35.4% 産業分野：50.9%  
公共分野：9.7% その他：4.0%

<2018年3月期第1四半期>



金融分野：36.4% 産業分野：50.9%  
公共分野：8.6% その他：4.0%

Copyright © 2017 TIS Inc. All rights reserved.

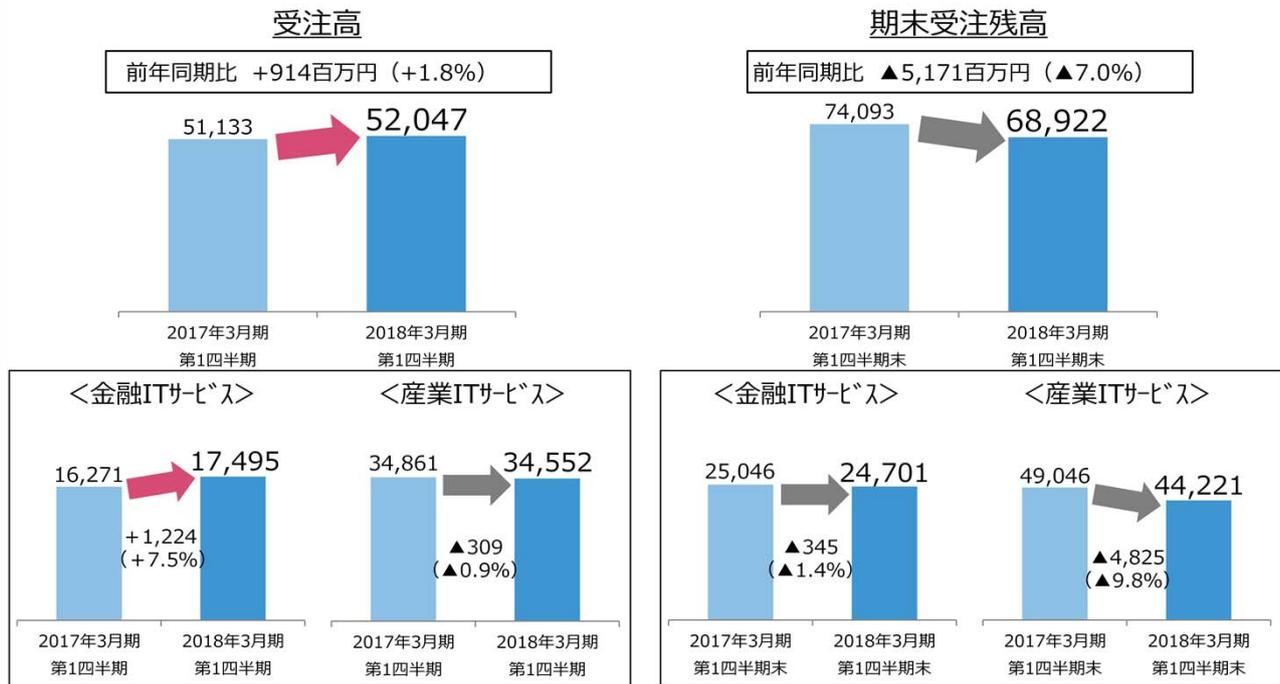
7

- 顧客業種別売上高の状況です。左側が金融系、右側が産業・公共系となりますが、当期に入りましたも、業種によってまだ模様という感じが続きました。金融系では、大型案件の寄与や決済関連分野における活発な投資動向を受けて「カード」が好調だった一方、マイナス金利の影響等もあるかと思いますが、「銀行」「保険」が微減という状況でした。
- 産業系の中では、「製造業」が底打ちしたことが従前からの大きな変化であると考えています。その以外では、お客様自身がビジネス拡大させるために戦略的なフロント系のIT投資を拡大させる傾向が続く「サービス」が引き続き好調でした。

## 2018年3月期第1四半期 受注状況

(単位：百万円)

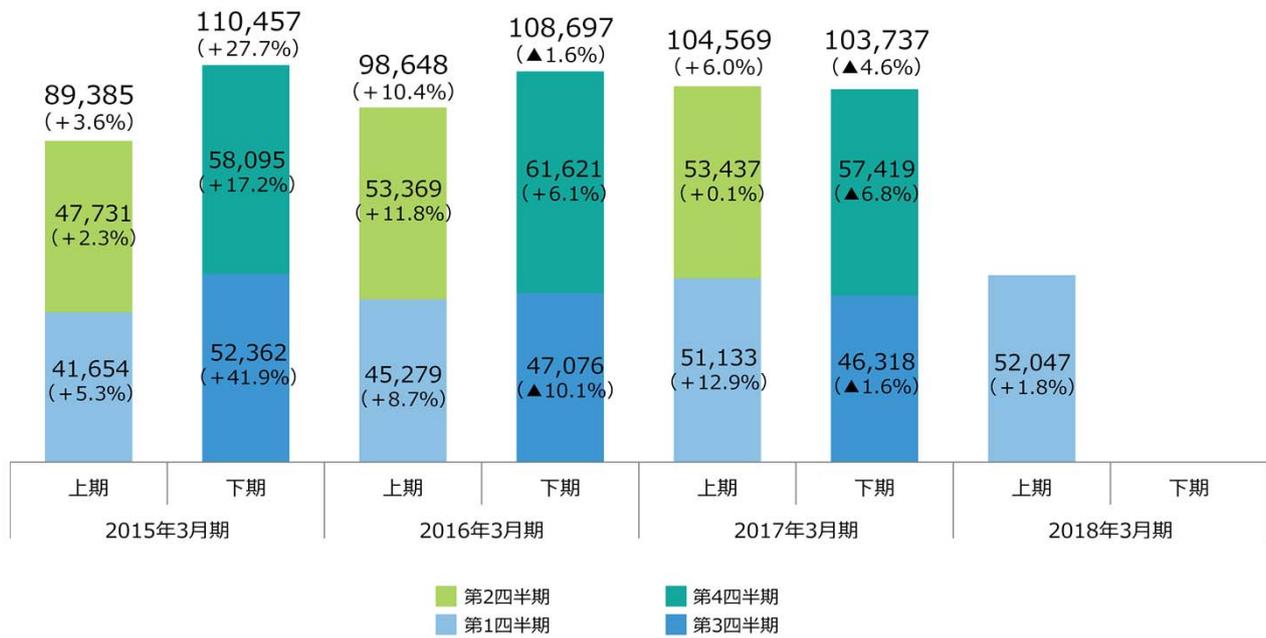
- ・当期受注高は好調な事業環境を背景に、反動減等を吸収して前期を上回る水準を確保。
- ・期末受注残は前年同期比減少だが、主要因は金融・公共系大型案件の進捗による減少。



- ・次に、第1四半期累計の受注状況です。
- ・当期受注高は、事業環境が良好な中、金融ITサービスを中心に着実な積み上げができたことから、全体では前年同期比1.8%増の520億円となりました。9ページに掲載している経年推移からもわかりいただけるかと思いますが、当第1四半期の受注高は過去よりも高い水準となっています。
- ・産業ITサービスの受注高は前年同期比微減となっていますが、主に、前期まで活況だったエネルギー系の自由化対応に係るIT投資が一巡したことに伴って減少したことによるものです。一方で、根幹先の製造業やERP案件の更新需要等もありますので、事業環境が悪いわけではないと考えています。
- ・期末受注残は前年同期比51億円の減少となっていますが、金融・公共系大型案件のまとまった受注高計上の後、案件進捗に伴う売上高計上・受注残減少が主な要因です。
- ・以上が、第1四半期決算の実績に関する説明となります。

## 受注高の推移

(単位：百万円)



Copyright © 2017 TIS Inc. All rights reserved.

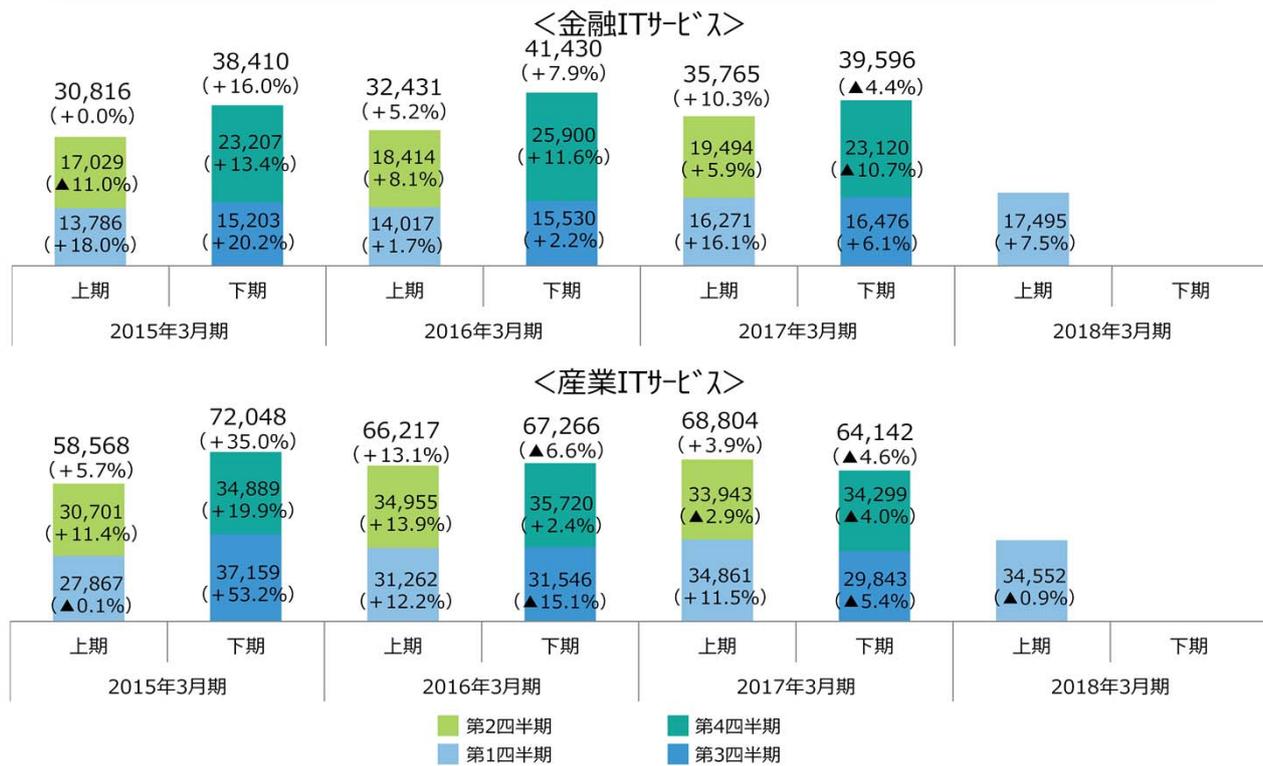
当期受注高は「ソフトウェア開発」に係るもののみ。カッコ内の数値は前年同期比増減率。

■ 9

(説明省略)

## 受注高の推移

(単位：百万円)



Copyright © 2017 TIS Inc. All rights reserved.

当期受注高は「ソフトウェア開発」に係るもののみ。カッコ内の数値は前年同期比増減率。

10

(説明省略)

2018年3月期第1四半期 業績概要

2018年3月期 業績見通し

参考資料

・それでは、通期業績見通しについてご説明します。

## 2018年3月期 業績予想ハイライト①

(単位：百万円)

- ・前期比増収増益の計画。売上高・営業利益は中期経営計画の目標値に設定。
  - ・中期経営計画の目標を1年前倒しで達成した親会社株主に帰属する当期純利益については、更なる向上を目指す。
- ⇒概ね、計画に沿って進捗していることから、期初計画値の変更はなし。



顧客のIT投資ニーズへの的確な対応による事業拡大や大型案件の着実な遂行等により、前期比増収を見込む。

増収効果のほか、不採算案件の抑制や生産性向上を継続推進。先行投資等のコスト負担増を吸収して前期比増益を見込む。

主に営業利益の増加に伴い、前期比増益を見込む。

Copyright © 2017 TIS Inc. All rights reserved.

12

- ・2018年3月期の通期業績見通しについては、期初計画からの変更はありません。売上高は前期比1.7%増の4,000億円、営業利益は前期比11.0%増の300億円、親会社株主に帰属する当期純利益は前期比10.4%増の180億円の増収増益の計画です。
- ・第1四半期は立ち上がり好調といえる内容でしたが、これに油断することなく、引き続き案件獲得・受注積上げを推進し、期初計画の達成確度向上を図ってまいりたいと考えています。
- ・なお、5月から7月にかけて、総額約28億円の自己株式の取得を行いました。これによって、期初計画値を前提とする総還元性向は35%となる見込みです。また、自己株式の取得に伴い、1株当たり当期純利益の予想値も期初より若干上昇し、210.2円に向上する見込みです。
- ・以上で、説明を終了させていただきます。

## 2018年3月期 業績予想ハイライト②

(単位：円)

・ROEは、「2021年3月期までの10%超」達成に向け、更なる向上を目指す。

### 1株当たり当期純利益

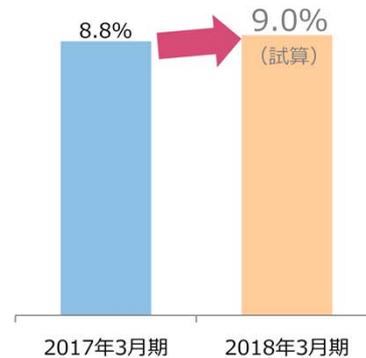
前期比 +21.18円 (+11.2%)



親会社株主に帰属する当期純利益の増加に伴い、前期比向上を見込む。  
(自己株式の取得に伴い、期初予想値から引き上げ)

### 自己資本当期純利益率

前期比 +0.2%

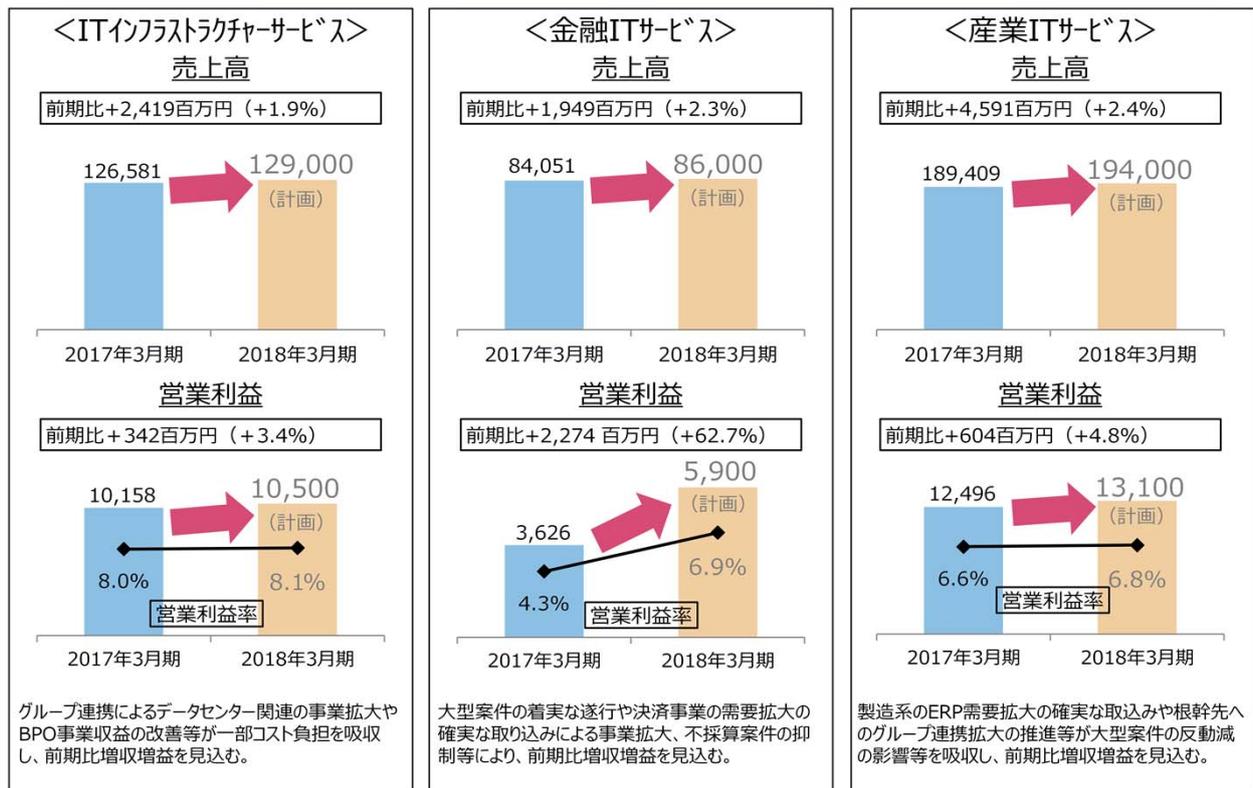


主として収益性向上により、さらなる向上を見込む。

(説明省略)

## 2018年3月期 主要セグメント別損益状況（予想）

（単位：百万円）



Copyright © 2017 TIS Inc. All rights reserved.

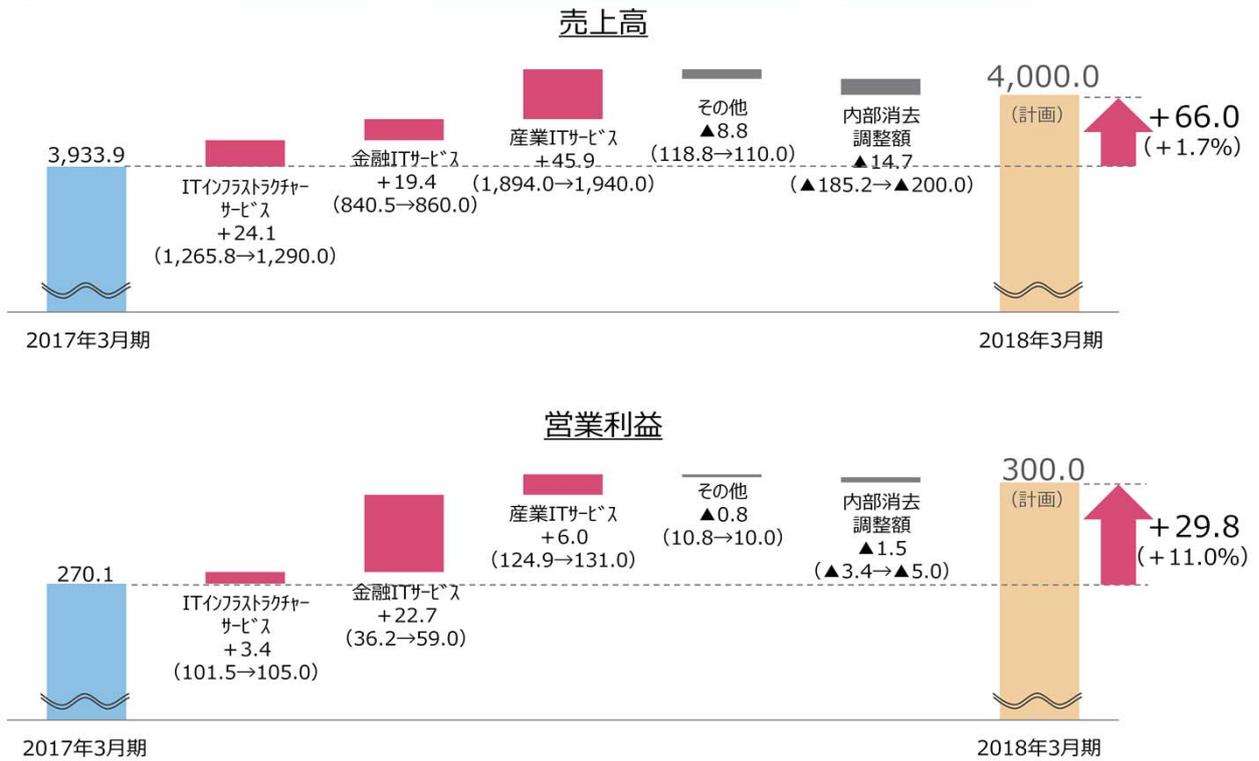
各セグメントの売上高はセグメント間の売上高を含んだ数値です。

14

（説明省略）

## 2018年3月期 売上高・営業利益増減分析 (予想)

(単位：億円)



(説明省略)

## 2018年3月期 主要セグメント別の注力ポイントの取組み状況

### <ITインフラストラクチャーサービス>

- ・セキュリティ等の付加価値サービスの拡大によるサービス型への転換加速、クラウドサービスの拡大
- ・グループ全体での閉域ネットワークサービス「DCAN」接続開始等、データセンター・ネットワーク事業におけるグループ間の相互販売の積極推進
- ・BPO統合効果の創出と高収益案件の拡大による採算性の改善

### <金融ITサービス>

- ・カード系大型案件の確実な遂行、根幹先の戦略テーマ取り込み
- ・『PAYCIERGE 2.0』のプレゼンス向上とマネタイズ加速による決済サービス事業の拡大
- ・決済多様化ニーズを捉え、決済事業者、流通系、交通系等への顧客基盤拡大
- ・銀行・保険は景況感不透明も、根幹先を中心として、重点テーマの獲得に向けた営業強化

### <産業ITサービス>

- ・公共系大型案件の確実な遂行
- ・根幹先の戦略テーマの取り込みとグループ連携による更なる深耕
- ・製造業を中心としたERP更新需要の取り込みによる顧客基盤拡大
- ・IT戦略が経営戦略に直結する状況の中、従来型SI事業に加え、コンサルティング・上流ビジネスの強化による『高付加価値ビジネスの絶え間ない追求』の推進

(説明省略)

2018年3月期第1四半期 業績概要

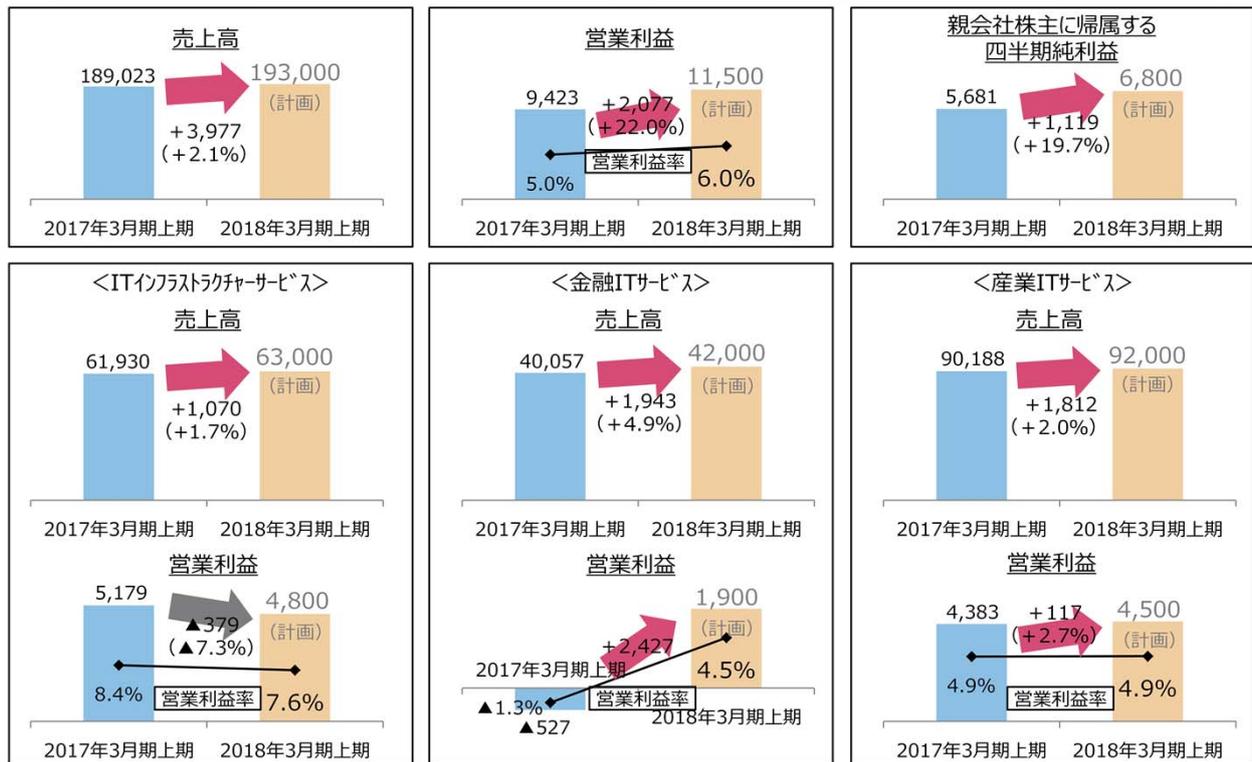
2018年3月期 業績見通し

参考資料

(説明省略)

## 2018年3月期上期 業績ハイライト・主要セグメント別損益（予想）

（単位：百万円）



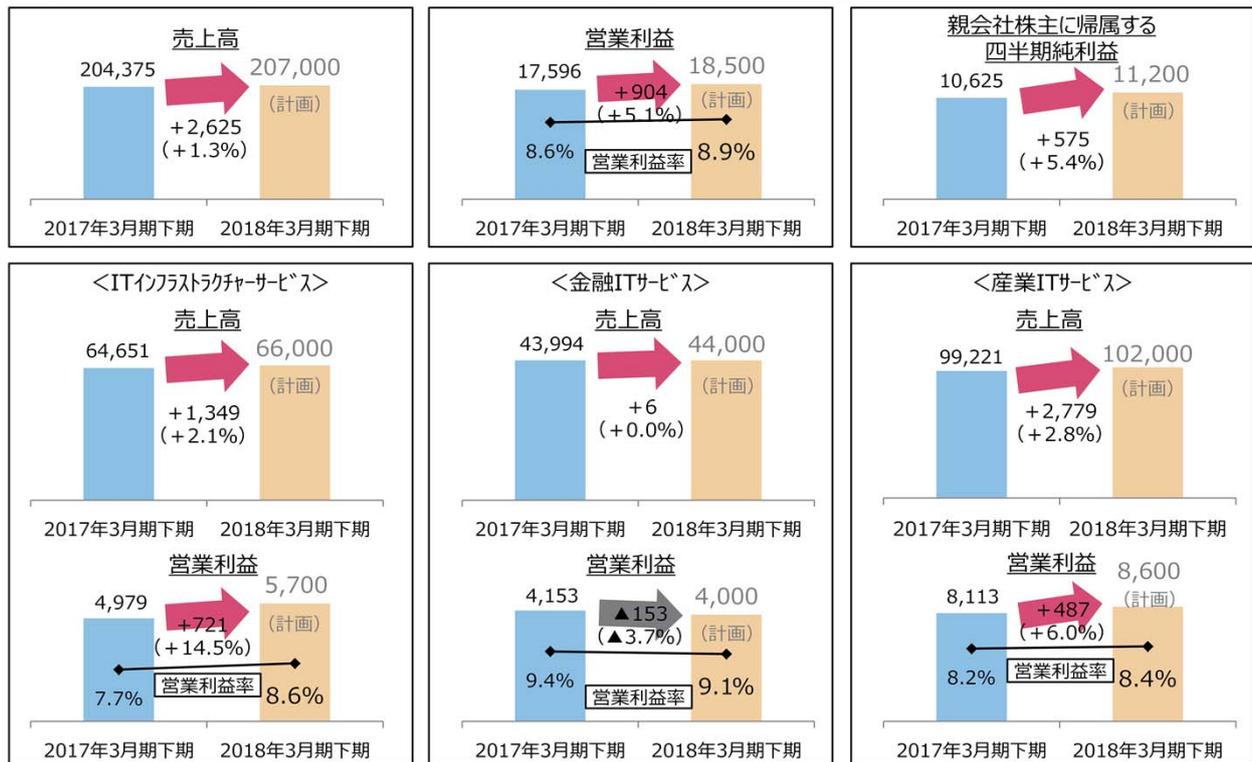
Copyright © 2017 TIS Inc. All rights reserved.

各セグメントの売上高はセグメント間の売上高を含んだ数値です。

（説明省略）

## 2018年3月期下期 業績ハイライト・主要セグメント別損益（予想）

（単位：百万円）



Copyright © 2017 TIS Inc. All rights reserved.

下期計画は通期計画から上期計画を控除したものです。  
各セグメントの売上高はセグメント間の売上高を含んだ数値です。

（説明省略）

## 2018年3月期第1四半期 プレスリリース/お知らせ①

発表日付	タイトル
2017年4月3日	連結子会社の人事異動のお知らせ
2017年4月5日	中央システム、使いやすさと導入のしやすさを追求したクラウド型勤怠管理システム『レコル』の提供を開始
2017年4月6日	インテック、富山大学にて寄附講義を開講
2017年4月7日	株式会社ゆめみのサービス運用監視基盤をTISの「Zabbix向けAWS監視テンプレート」を用いて構築
2017年4月11日	TIS、メインフレームからオープン環境への移行を支援する『Xenlon～神龍 マイグレーションサービス』の提供を開始
2017年4月12日	興伸、大規模クリーンルームを活用し、医薬品・医薬部外品・化粧品などデリケート商品の取り扱いを開始
2017年4月17日	TIS、生命保険会社向けソリューション『sosiego(ソシエゴ)』で営業支援やAI分析など新ラインナップの提供を開始
2017年4月24日	TIS、AI活用の業務チャットプラットフォーム『DialogPlay』のベータ版を提供開始
2017年4月24日	TIS、AI・ロボットを活用したビジネスを行う「AIサービス事業部」を新設
2017年4月26日	コインチェック、ネクスウェイの「本人確認・発送追跡サービス」で会員のスムーズな取引開始を実現
2017年4月27日	TIS、AI活用で働き方改革の推進を支援する『HRアセスメントサービス』を提供開始
2017年5月1日	人事異動のお知らせ
2017年5月8日	クオリカ、工場向けIoTソリューション「FactoryQube」のサービス提供を開始
2017年5月9日	クオリカ、製造業などの作業現場向けのウェアラブルデバイス「AiboQube（アイボキューブ）」の企画開発を開始
2017年5月10日	TISのお客様常駐型オンサイトサービスを中心とした浜松地区の事業をTISソリューションリンクへ移管
2017年5月10日	自己株式の取得に係る事項の決定に関するお知らせ
2017年5月11日	TISが、東急建設の管理会計システムにオラクルの予算管理クラウドを導入
2017年5月29日	TISとクララオンラインが中国でのAWSビジネスで協業
2017年5月30日	ネクスウェイとイー・ガーディアン、ビットステーションにビットコイン口座開設時の本人認証～書留発送追跡サービスをワンストップで提供
2017年6月1日	人事異動のお知らせ
2017年6月1日	ネクスウェイ、名刺・住所録のデータ化&オリジナルデザイン作成サービスを加えた暑中見舞い印刷発送サービス『暑中見舞いの秘書』を提供
2017年6月2日	インテックと紀陽情報システム、秋田銀行へF3（エフキューブ）関連商品である「リレーションシップ・ポータル®」を提供

(説明省略)

## 2018年3月期第1四半期 プレスリリース/お知らせ②

発表日付	タイトル
2017年6月5日	TISとアカウントिंग・サース・ジャパン、FinTech領域で業務提携契約を締結
2017年6月6日	GRANDIT『Solution of the Year』を受賞 (AJS)
2017年6月7日	連結子会社の人事異動のお知らせ
2017年6月7日	ネクスウェイとドリーム・アーツ、チェーンストアの働き方改革を後押しする『店舗matic』に「メッセージの管理機能」を追加
2017年6月7日	自己株式の取得状況に関するお知らせ
2017年6月12日	インテック、女性活躍推進法に基づく認定「えるぼし」の最高位を取得
2017年6月13日	TIS、生命保険会社向けソリューション『sosiego』の営業支援メニューに「Interactive-Pro」を追加
2017年6月15日	TISおよび連結子会社の人事異動のお知らせ
2017年6月15日	経済産業省のIT導入補助金対象サービスに認定、『本人確認・発送追跡サービス』導入で本人確認業務コストが補助金の対象に（ネクスウェイ）
2017年6月21日	ネクスウェイ、DM印刷発送サービス『e-オンデマンド便サービス』でアイティメディア社のリードジェン強化を支援
2017年6月22日	TIS、「SuperStream CORE」から「SuperStream-NX」への移行支援サービス「FLASHNX」を提供開始
2017年6月26日	ネクスウェイ、ASEANのタイ工業団地・CLMV諸国進出の日系企業向け営業・マーケティング支援サービスを提供開始
2017年6月28日	TISのリテール決済ソリューション「PAYCIERGE」でIBM API製品群を採用
2017年6月29日	インテック、ビッグデータ総合支援サービス「ARQLID（アークリッド）」にIoT・AI技術を追加
2017年6月29日	ネクスウェイ、「センス”ある”扇子”暑中見舞い『暑中見舞いの秘書』で特別な取引先との関係性アップをお手伝い
2017年6月30日	ネクスウェイ、青山・表参道/銀座/代官山エリアの高級美容室に特化した視認率98.8%の動画放映メディア『Salon Screen』の広告販売をスタート

(説明省略)



(ご注意事項)

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、TISインテックグループ（TISおよびグループ会社）が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
- ・各四半期会計期間（3カ月）の数値は累計期間の差引により算出しています。

(説明省略)